

頼平速切りして叶ふとて思ひ人捨鞭打て逐ふ不
や田に平に所道下と追截る小清水痛手を多りけ
る故もや大は板をきんとて一馬も送根も落つて
あつたを田に俵いて馬より走る下り終ふ小清水が首
を切て幸陳も席る湯江路敗軍大築北十五町退ひて
陳取敗軍北士卒を算るも僅に百金騎も打ふとれ
盛安公新在りてふ所陳も取は所は名をかも
八柳永山黒川梅原に五而奈騎多る角館に所帰
陳大築北に終ひて一報もや思ひ人亦臆病邪ふや
と人湯江の城に火を放ち高寺に城は落行あり

斯く亦秋田と角館大合戦盛安公大に武威を成し
へむ知年の振る奇代の働き度るなりとれと近頃不
平九郎とていふす一免九郎と唱ふを多しなりとれ上
る近頃礼厚く士民をなほけ窮民を援助せし
あり程ふ北浦の莊残るに角館に從ひる秋田家小成
寺家れ諸士も盛安公の武威に畏れ志のむくも角館
江從ひりて天正十五年八月朔日小野寺戸以和略然
処秋田累代の幕下大平北城主永井左近將監秋田を
背き大平北城を奪る数村老臣各勢を刀を使として
横目の小野寺雅樂助方込阿隅川の義通は一味して